



ケガの原因7：はさまれる

～「乳幼児」で多く発生しています～

1 実際の事故事例

高齢者 【65歳以上】

○車を修理していたところジャッキが外れ、車両との間に体のはさまれ足をケガした

大人 【18歳～65歳未満】

- 強風でドアに手をはさまれ、手をケガした
- 乗用車誘導中に誤って車両と門扉に手をはさまれ、手をケガした
- 野菜粉碎機に手をはさまれ、手をケガした

子ども 【7歳～18歳未満】

○ソファベッドと床の間に手をはさまれ、指をケガした

乳幼児等【0歳～7歳未満】

- 電車のドアに手をはさまれ、手をケガした
- 自動扉に手をはさまれ、指をケガした
- ガラス戸に手をはさまれ、指をケガした
- おもちゃに手をはさみ、指をケガした



2 予防と対策

☆ドアの開閉に注意

○ドアを閉めるときは、自分以外（子ども等）がドアに触れていないか注意しましょう。

☆ドアの急激な開閉防止

○ドアクローザー※を設置しましょう。（※開放したドアを自動的に閉める装置。急激に閉じないよう動作を緩慢にする機能がある。）

☆重量物にはさまれると重症化に

○車や、サッカーゴールなど重量物にはさまれると重大な事故につながる事が多いです。重量物の下で作業等する場合は、安全に配慮してから行いましょう。

「小さな子どもがドアや戸に手を挟む事故が多く発生しています。ドアの開閉時は大人が注意することを心がけ、衝撃を和らげる、また隙間を保護する素材を適切に取り付ける対策をしましょう！」

「予防救急」を始めましょう